

福祉厚生常任委員会審査・先進地視察報告

福祉厚生

電気自動車充電機 設置(道の駅 酒蔵)

一般会計補正予算・特別会計補正予算・条例について審査を行い原案の通り可決としました。

主な歳出

【老人福祉費】 715万円
老人福祉施設整備事業実施に伴う費用、高齢者交通サポート事業実績見込みによる費用。

【保険衛生費】 7,703万円
繰出し金と馬木診療所開所に伴う費用。
【環境衛生費】 535万円
電気自動車用急速充電機設置に伴う費用。

【塵芥処理費】 406万円
投入ゲート修繕費用。

【住宅管理費】 1,621万円
公社住宅中河原ハイツ購入費用。
【特別会計補正予算】

視察報告

鏡野町の高齢者 生活支援について

人口1万4千400人面積は420 高齢化比率38%と奥出雲町に似かよった規模の町です。

高齢者生活支援ハウス施設(高齢者生活福祉センター)は、独立して生活す

るには不安があり、また家族による支援を受けることが困難な高齢者の受け入れ施設で町内のおおむね60歳以上の1人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が対象となっており、介護支援機能、居住機能があるデイサービスセンターに併設されています。

この施設の利用料は1日500円と出来るだけ低利用料金とするため、専従宿直者や調理員は配置し

ないで、原則自炊となっております。おりました。

居住部門部屋は、アイスにも利用されており、すべて鏡野町社会福祉協議会へ運営委託されています。鏡野町国民健康保険病院会計は、総収益13億1千万円、総費用12億4千万円、2億1千万円の赤字経営であり一般病床48床、療養病床40床、常勤医師は7名で、看護基準は10対1です。

現地視察

国民健康保険事業、介護サービス事業、訪問看護ステーション事業、簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の補正合計額9千350万円。

あいサンホーム増床工事見直し、消費税、償還金入件費の組替え等です。

和気町デマンドバス、 ごみ処理について

人口1万5千500人、面積144 の町で、デマンドバスと、デマンド型乗合タクシー事業は平成19年3月にはじまり、平成20年11月には全町へ拡大している。利用方法は、まず事前に利用登録をし、利用したいときに予約センターへ経路や目的地を電話すると、一律300円で自宅へ「和気あいあいタクシー」が迎えに来ます。この事業は、タクシー会社へ委託し運営されており、事業経費は平成22年度が約3千400万円、利用料金収入840万円、町補助金2千500万円であり

病床利用率は、一般病床85%、療養病床90%で、1日外来患者255人。年間手術件数123件でMRの設備も整備してありました。黒字要因は医師不足の現況の中、医師の確保、病床利用率と外来患者数の確保が安定経営に重要と認識しました。

年間利用者数は延べ2万8千人、利用登録は65歳以上の方は2千340人とのことでした。

和気町のごみ分別は14分類にされごみ袋は有料で可燃物は週2回の収集、資源化物は月2回で、回収ステーションへ持ち出し各ステーションには環境衛生指導員が配置し、分別状況のチェックをしている、可燃物ごみに占める生ごみの割合が組成調査で31.7%をしめている事を確認し、外部委託の焼却処理と、堆肥化による処理とのコスト計算がなされ、その結果、生ごみの堆肥化への取り組みが積極的にすすめられておりました。

